

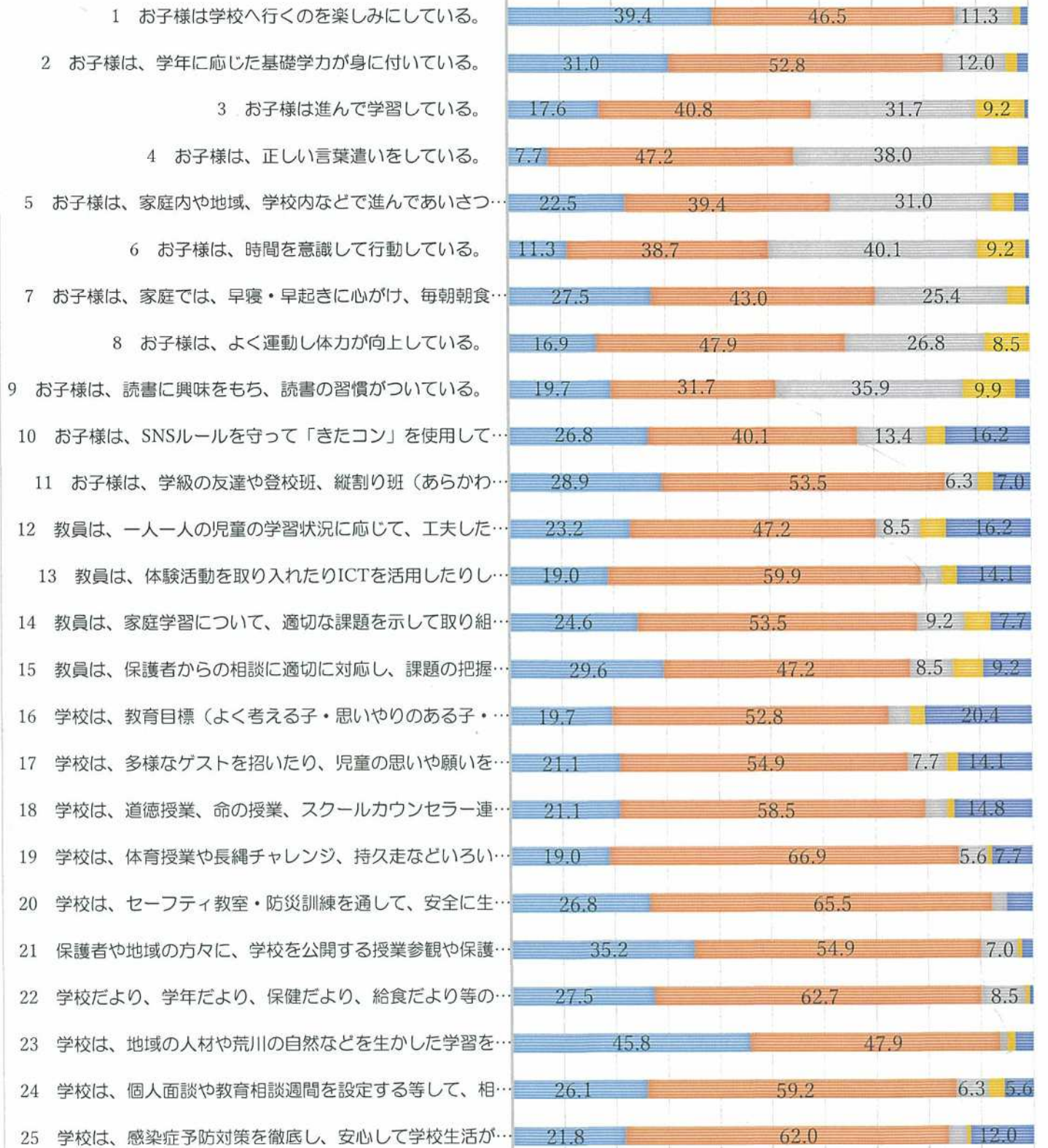
令和4年度 学校評価アンケートの結果について

北区立岩淵小学校 校長 野尻 史子

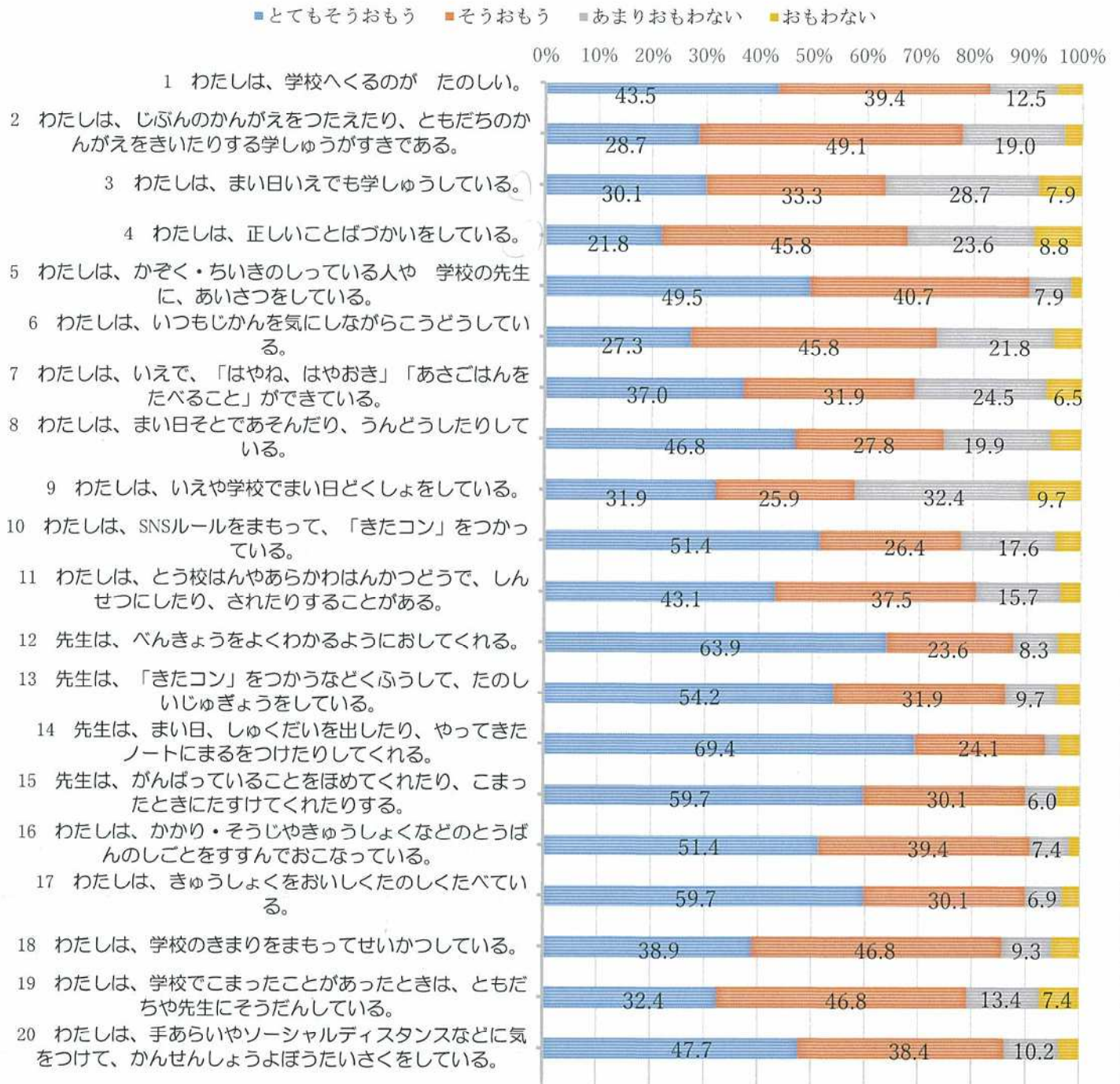
保護者アンケート集計結果

- よくあてはまる・とても思う
- あまりあてはまらない・あまり思わない
- わからない
- あてはまる・そう思う
- ほとんどあてはまらない・ほとんど思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 児童アンケート集計結果



12月に実施した「令和4年度学校評価アンケート」には、142の回答をいただきました。ご協力、ありがとうございました。

今回のアンケートは、児童数(210)で実施いたしましたので、回収率は67.9%でしたが、昨年度の回収122、回収率57.5%からは、約10%増加しています。「きたコン」を活用してGoogleフォームでご回答いただく方式でしたが、回答のしやすさはいかがだったのでしょうか。より多くの保護者の皆様にご協力いただけるよう、来年度も工夫してまいります。

令和4年度は、コロナ禍ではありましたが、社会全体がWithコロナへ舵をきったこともあり、本校でも、感染症対策を徹底した上で教育活動の制限を少しずつ緩和してきました。土曜授業は、各クラス二分の一ずつの分散参観ではありましたが毎月実施。運動会、展覧会も保護者参観のエリアや人数等最低限の制限を設けながら、コロナ禍以前に近い規模でおこなうことができました。

「児童は学校生活を楽しんでいるか」という問いに対する肯定的な評価(とてもそう思う・そう思うの合計)は、保護者85.9%(昨年度84.4)、児童82.7%(80.3)で、工夫して教育活動に取り組んできたことを評価していただき、大変うれしく思いました。子供たちの肯定感、満足感の上昇も、教職員にとって大きな励みになっています。

□ 保護者アンケートで肯定的な評価 80%以上の上位項目は、

- ①「学校は地域の人材や荒川の自然等を生かした学習を通して身近な自然環境への関心を高めている」93.7%
- ②「学校は防災訓練等して安全な環境を整えている」92.3%
- ③「学校は保護者会、学校だより等で児童の様子や学校の取組を伝えている」90.2%
- ④「学校を公開する授業参観や保護者会等が適切に行われている」90.1%
- ⑤「児童は学校へ行くのを楽しみにしている」、「学校はいろいろな運動への取組を通して体力の向上に努めている」85.9%
- ⑦「学校は相談しやすい環境を整えている」85.3%
- ⑧「学校は感染症予防対策を徹底し安心して学校生活を送れるよう努めている」、「児童は学年に応じた基礎学力が身に付いている」83.8%

以上、8項目でした。本校の継続した取組に一定の成果が上がっていること、防災訓練等学校行事や各学級の様子等を、学校だより、学年だよりでお知らせしてきたことを評価していただいたものと考えます。

また、「学校は道徳授業、いのちの授業、SC連携授業を通して心の教育に努めている」79.6%は、今年度からの項目でしたが、高い評価をいただきました。今後も、子供たちの心の教育に注力してまいります。

□ 保護者アンケートで、肯定的な評価が低かった項目は、

- ①「児童は時間を意識して行動している」50%
- ②「児童は読書の習慣が身に付いている」51.4%
- ③「児童は正しい言葉遣いをしている」54.9%
- ④「児童はすすんであいさつしている」61.9%

この4項目は、昨年度に続いて低い評価となっています。学校生活全般について子供たちの取組意欲を向上させ、規範意識を身に付けさせる指導を、学校全体で工夫・改善する必要があります。

ご家庭でも、ぜひ、お子様への声かけや、率先してできている場合の賞賛・励ましをお願いいたします。

□保護者アンケートで不明回答の多かった項目は、

- ①「児童は、SNSルールを守って「きたコン」を使用している」66.9%(不明 16.2)
- ②「教員は体験活動やICT活用等工夫した学習指導を行っている」70.7%(不明 14.1)

この2項目は、「きたコン」の活用について、学校からご家庭へのお知らせがまだ十分でないことを示していると思われます。校内での教員研修を充実させるとともに、ご家庭へ分かりやすくお知らせするよう、努めてまいります。

□保護者アンケート その他のご意見から

- 低学年のご家庭から、「下校時刻が学校からのお知らせ（学校だより・学年だより）と違うことがあり、わかりにくい」というご指摘がありました。配布物については、間違いの無いように複数の目で内容を点検しておりますが、間違いがあったことについては、申し訳ありません。今後さらに気を付けてまいります。また、学級によっては、帰りの会が延びたり、放課後に片付けなどしたりすることにより、学校を出る時刻が、予定より遅くなることもございます。大幅に遅くなるときは、学校からご連絡するようにいたしますので、どうぞご了解ください。
- 主に冬季、半袖の体育着だけでは寒い時期の上着やズボンの着用について、ご質問がありました。学校からは、全学年共通して、体育の際の上着はファスナーやフード、飾りのついていない動きやすいトレーナーを推奨しています。身体を動かすことによって温かくなったら、汗をかく前に脱ぐようにも

声かけしています。小さなお子様でも着脱しやすい上着を選んで着用させてください。また、体育の授業で長ズボンをはいての学習活動は原則していません。しかしながら、肌が弱い、風邪気味などの理由で着用させたい場合には、担任にご相談ください。今後、学校としても共通指導できるように協議してまいります。

- 「あいさつができない子が多い」「登校班はなくてもよいのではないか」「体育着の購入に不便を感じている」「ビオトープをもっと管理した方がよいのではないか」等、少数ではありますがご意見をいただいています。今すぐ大きな変更をすることはありませんが、いただいたご意見を踏まえて、PTA、関係の皆様とも協議して、改善すべき点は改善してまいります。

今年度は、開校 85 周年、節目の一年です。運動会、展覧会には、「開校 85 周年記念」と冠して実施し、子供たちも学校に愛着をもって取り組んでくれました。今も第一昇降口の裏に掲示している「岩小のすてきな木」には、子供たちが岩淵小を大好きで、いいところをたくさん見つけてくれていることが伝わってきます。

11 月、12 月には、春風亭 昇吉師匠が来校し、4 年生がそのご指導の下、開校 85 周年記念の「岩淵寄席」を開いてくれました。1 月には、アテネパラリンピックで、マラソン金メダルの高橋 勇市選手に持久走の「走り方教室」でたくさんの走るコツを教えていただきました。

また、6 年生が 2 月 7 日の開校を祝う児童集会で岩淵小のよいところをクイズやスライドなどで伝えてくれる準備をしていますが、そのスペシャルゲストとして、岩淵町自治会の石渡 良憲会長様、本校第 19 代校長 木村 良平先生が来校してお話をしてくださる機会も 12 月にありました。

子供たちにとって、岩淵小開校 85 周年の思い出がいくつかでも心に残ってくれれば幸いです。

令和 4 年度も、残すところわずかとなりました。子供たちが、自信をもって進学、進級できるように、しっかりと学年のまとめに取り組んでまいります。引き続き、本校の教育活動に、ご理解、ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

## 1 月 26 日 高橋勇市選手 走り方教室



高橋勇市選手は、2004 年のパラリンピックアテネ大会マラソン男子金メダリストです。その後もトライアスロン競技で世界の大会でご活躍中です。北区在住で北区スポーツ大使として、子供たちにスポーツの楽しさを届けたいという願いをもち、区内各校でご指導、ご講演活動をしていらっしゃいます。

コツを教えていただくと、腕の振り方が大きく、一步の歩幅が広がった児童が増えました。

